

平成 20 年度宮前区区民会議企画部会(第 2 回)

平成 20 年 9 月 5 日(金) 18 時～19 時 30 分

鷺沼會館

次 第

1 開 会

2 議 事

第 2 期区民会議の進め方について

3 その他

配布資料

資料 1 第 2 期区民会議の進め方について 認識の共有化

資料 2 コミュニティ価値の創造

宮前区民会議
第2回
企画部会

案件 第2期 区民会議の進め方について 認識の共有化

2008.9.5

依頼 委員長から

作成:永野

現状認識

委員間で区民会議の位置づけ、進め方の基本認識の共有が計られていない。専門部会の進め方に一部戸惑いがある。第1期からの連続性について議論がされていない。まちづくり協議会等の市民活動団体と区民会議の違いについて、認識が不明確。

議論目的

企画部会員で以下の内容についてイメージを共有したい。
区民会議の目的・位置づけについて
全体の流れ、議論の進め方について
解決策の形について
解決策の取り組み及び検証について

参考情報

第1期区民会議総括報告書
川崎市、宮前区区民会議関係条例・諸規程

個別の苦情や要望から区民共通の課題へ置き換え

現状調査
特徴の把握と分析
ハードとソフト

どうあってほしいか
そうならない原因
の分析 調査

区民が皆で取り組める解決策への提案
市民活動団体への橋渡し策

取り組みの拡がり
と検証見直しの再生産

審議テーマの検討
プロセス①

現状&特徴の把握
プロセス②

課題&原因の分析
プロセス③

具体的な解決策
審議と提案
プロセス④

取り組みと検証
プロセス⑤

地域課題情報

各種資料 情報
関係者からの聴取

各種資料 情報
関係者からの聴取
事例研究

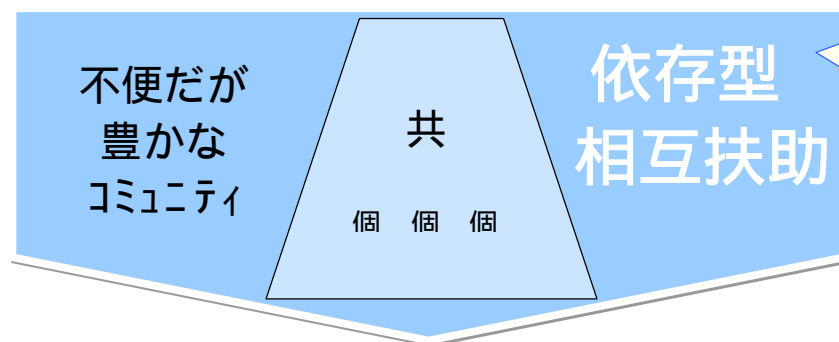
解決への具体策
多面的取り組み策

計画 実行
検証 見直し策

コミュニティ価値の創造

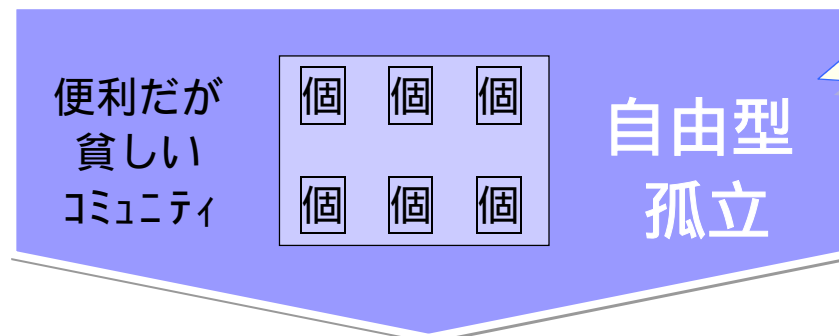
2008.9.5 作成:永野

旧来の共同体
(農村型共同体)



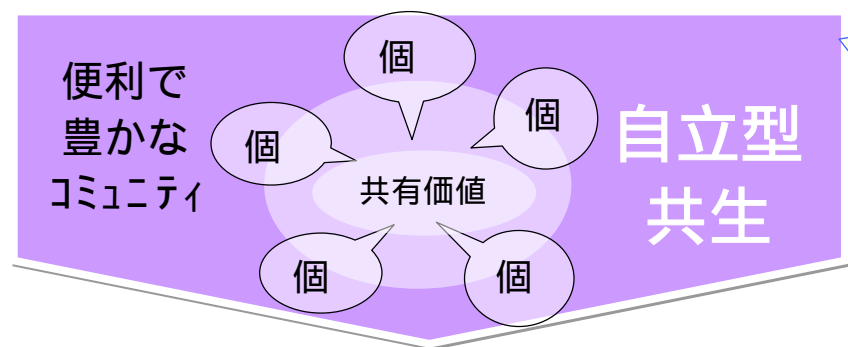
個人は貧しく、地域共同体に依存しながら、生活の不便さや安全性を相互扶助の助け合いによって解決していた。
= 「結い」の共同体
(例: 茅葺屋根の葺替え、長屋路地の井戸端)
{加算価値}・{依存価値}
+ + + + = 5

都市化の現在
(工業・情報化社会)



個人で何でも手に入る便利な社会になると、共同体は必要なく、うつつしい存在となった。
= 個人優先の消費社会
(例: 孤食、携帯端末でTV観戦)
{個人価値の範囲内}・{単独価値}
+ + + + = 2

目指す共同体
(共生型社会)



個人では手に入れることが出来ない価値を、他人と創造的に協働する事によって手に入れる。
= お互いの自立を認め合いながら、コミュニティによる新たな共有価値を創造する。
(例: コミュニティガーデン、共生ケアの地域福祉、コレクティブハウジング)
{相乗価値}・{共生価値}
× × × × = 32